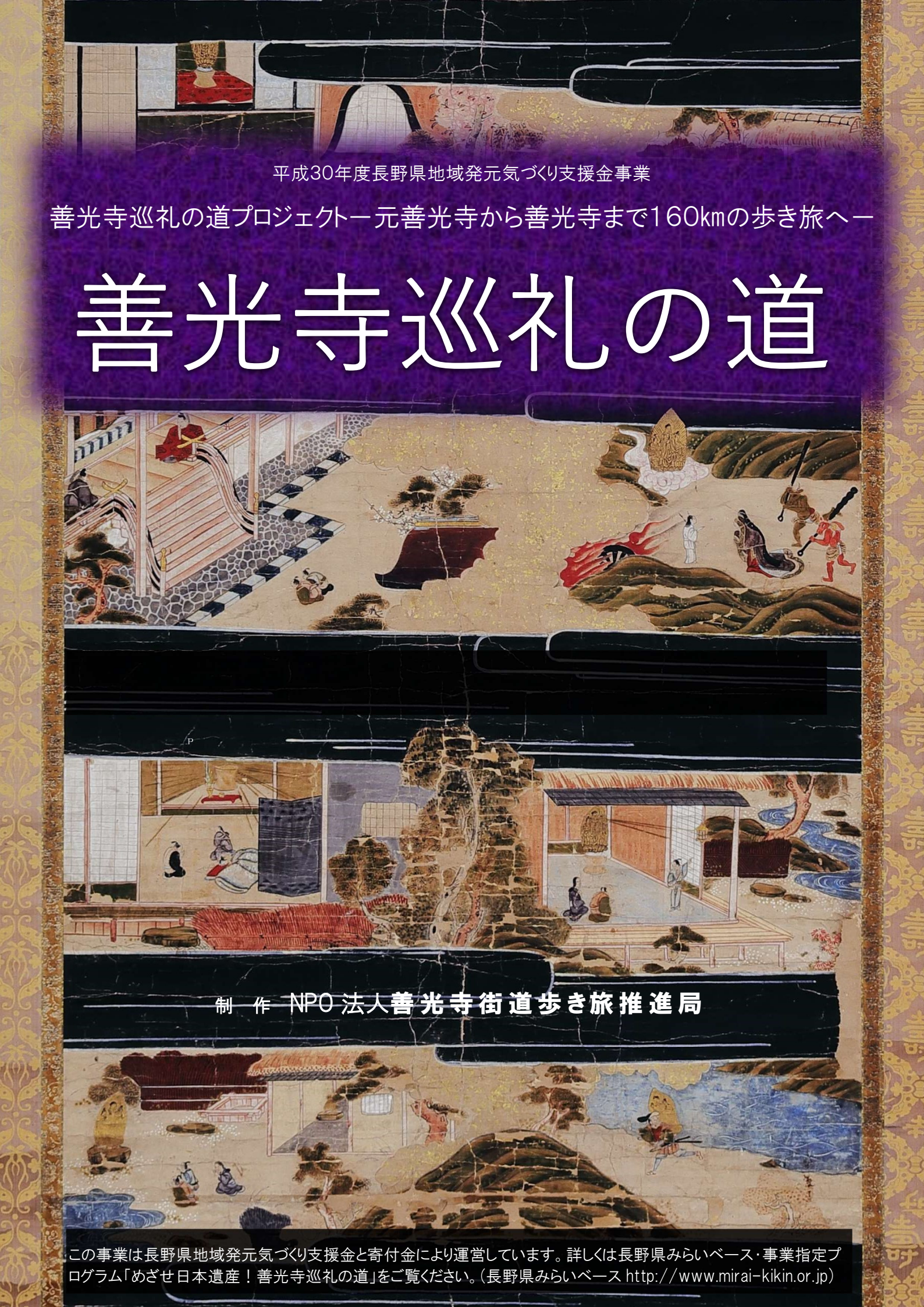


The background of the entire page is a collage of various Japanese art forms, including a top section with a red and white pattern, a middle section with a landscape painting, and a bottom section with a scene of people in a landscape. The collage is framed by a gold border with a repeating pattern.

平成30年度長野県地域発元気づくり支援金事業

善光寺巡礼の道プロジェクトー元善光寺から善光寺まで160kmの歩き旅へー

善光寺巡礼の道

制作 NPO 法人善光寺街道歩き旅推進局

この事業は長野県地域発元気づくり支援金と寄付金により運営しています。詳しくは長野県みらいベース・事業指定プログラム「めざせ日本遺産！善光寺巡礼の道」をご覧ください。(長野県みらいベース <http://www.mirai-kikin.or.jp>)

先人の祈りを巡礼する

信州善光寺は全国の有名寺院の中にあって、もっとも古くから庶民に開かれてきた寺といえます。善光寺が「日本人の仏壇」あるいは「総菩提所」「心のふるさと」などと呼ばれてきたことは、庶民との親密性を如実に表しています。善光寺にまつわる昔話が全国に遍在し、御開帳の2ヵ月間には700万人におよぶ参詣者が訪れることから、善光寺の歴史が庶民と共に積み上げられてきたことがわかります。

善光寺街道協議会は善光寺街道を巡礼道として復興することを目的に、街道沿線の住民団体が連携する組織として平成20年に設立されました。NPO法人善光寺街道歩き旅推進局は協議会を構成する住民団体のひとつであるとともに、事務局として協議会における活動の企画運営や団体間の連絡調整を担っています。現在、善光寺街道協議会には構成団体の他に街道歩きを楽しむ方や会の活動に賛同する個人を含め、140人の会員がいます。そして本年、協議会設立10周年を期に飯田市元善光寺から善光寺まで、160kmにおよぶ善光寺巡礼の道復興プロジェクトを立ち上げました。

協議会は、平成21年の善光寺御開帳より「善光寺街道巡礼歩き旅」ツアーを活動の中心として実践しています。街道に残る石仏や寺社建造物の多くは庶民の祈りに関するものですから、歩き旅は必然的に先人の祈りに触れる旅となります。それらは実に個性的で、バラエティーに富んでいます。つまり善光寺巡礼の道を歩くことは、多様なカタチに結晶した先人の「祈り」を巡礼することなのです。不遇な時代ほど祈る思いは強くなるでしょう。先人の祈りに歩み寄り、ほんの少しその時代に思いを馳せたなら、路傍の石仏は語りかけてくるはずです。

歩き旅ツアーの経験から、善光寺巡礼の道の魅力を発信するには、個々の文化財の背景を掘り起こし、関連する文化財の情報をネットワーク化することが大変重要であると考えています。それにより文化財群としてのストーリーが生まれるからです。これは日本遺産が求めるものと同じです。世界を視野に善光寺巡礼の道を発信するなら、日本遺産認定は有力な手段であると考えます。飯田市から長野市に至る、伊那街道・善光寺街道沿線関係者の皆様をはじめ、多くの皆様のご理解とご支援をお願い申し上げます。

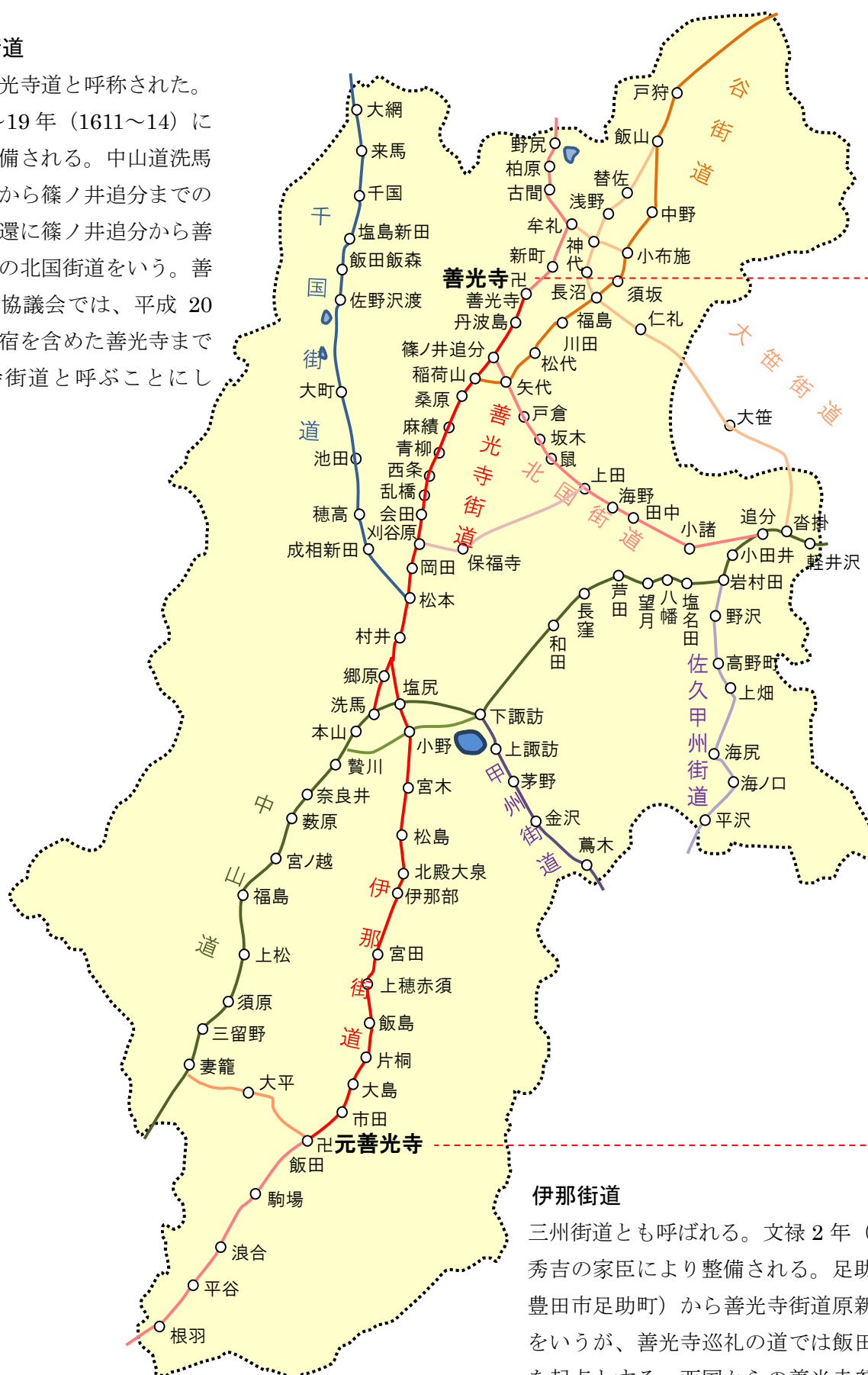
平成30年10月31日

NPO 法人善光寺街道歩き旅推進局
理事長 小瀬佳彦

信濃の街道と善光寺巡礼の道

善光寺街道

古くは善光寺道と呼称された。慶長 16～19 年（1611～14）にかけて整備される。中山道洗馬の分去れから篠ノ井追分までの北国脇往還に篠ノ井追分から善光寺までの北国街道をいう。善光寺街道協議会では、平成 20 年に洗馬宿を含めた善光寺までを善光寺街道と呼ぶことにした。



善光寺巡礼の道

元善光寺から善光寺までの伊那街道と善光寺街道約 160 km の

伊那街道

三州街道とも呼ばれる。文禄 2 年（1593）豊臣秀吉の家臣により整備される。足助宿（愛知県豊田市足助町）から善光寺街道原新田追分までをいうが、善光寺巡礼の道では飯田市元善光寺を起点とする。西国からの善光寺参りの他、南塩の道、中馬発祥の道としても知られる。